

PRIMERGY TX1310 M3 未サポート OS 動作検証確認情報

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

CentOS	2
Debian	23
FreeBSD	30
Ubuntu Server	33
openSUSE	34

PRIMERGY TX1310 M3 未サポート OS (CentOS) 動作検証確認情報

ソフトウェア名称	動作確認結果
	オンボード SATA コントローラ
CentOS 8.1(x86_64)	○ [詳細]
CentOS 8.0(x86_64)	○ [詳細] (注5)
CentOS 7.7(x86_64)	○ [詳細] (注5)
CentOS 7.6(x86_64)	○ [詳細] (注5)
CentOS 7.5(x86_64)	○ [詳細] (注5)
CentOS 7.4(x86_64)	○ [詳細] (注5)
CentOS 7.3(x86_64)	○ [詳細] (注5)

本表を OS 毎に分割致しました。
そのため他の OS を別頁に記載している場合があります。

凡例
○：インストール可 ×：インストール不可 -：未確認 ※ServerView Agents は対象 OS でインストールのみ確認。
注釈
<ol style="list-style-type: none"> 1. LAN ドライバが必要。 2. TEXT モードでインストール。 3. SAS コントローラ対応ドライバ、LAN ドライバが必要。 4. SAS コントローラ対応ドライバが必要。 5. SATA コントローラ対応ドライバが必要。 6. 論理的にインストール可。 7. その他。

PRIMERGY TX1310 M3 オンボード SATA コントローラ CentOS 8.1 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX1310 M3

- ・ BIOS : R1.23.0
- ・ CPU : Intel® Celeron® G3930 2.90GHz/2コア/2MB ×1
- ・ メモリ : 8GB
- ・ NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ×1
- ・ HDD : SATA HDD-1TB ×1
- ・ 外部記憶 : DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Intel Corporation Ethernet Connection (2) I219-LM (rev 31) 【e1000e】
- ・ VGA : Intel Corporation HD Graphics 610 (rev 04)
- ・ RAID : Intel Corporation Q170/Q150/B150/H170/H110/Z170/CM236 Chipset
SATA Controller [AHCI Mode] 【ahci】

■ディストリビューション

- ・ ディストリビューション : CentOS 8.1.1911 (x86_64)
- ・ カーネル版数 : 4.18.0-147.el8.x86_64

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX1310 M3 CentOS 8.1 (x86_64) 4.18.0-147.el8.x86_64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準 ※1
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ip コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(ip, nmcli, nmtui など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID]のインストール	—
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView Agents 9.20-08] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 AHCI モードで接続

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install CentOS Linux 8.1.1911」を選択し、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

[- トップへ戻る -](#)

PRIMERGY TX1310 M3 オンボード SATA コントローラ CentOS 8.0 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX1310 M3

- ・ BIOS : R1.23.0
- ・ CPU : Intel® Celeron® G3930 2.90GHz/2コア/2MB ×1
- ・ メモリ : 8GB
- ・ NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ×1
- ・ HDD : SATA HDD-1TB ×1
- ・ 外部記憶 : DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Intel Corporation Ethernet Connection (2) I219-LM (rev 31) 【e1000e】
- ・ VGA : Intel Corporation HD Graphics 610 (rev 04)
- ・ RAID : Intel Corporation Q170/H170/Z170/CM236 Chipset SATA Controller
[RAID Mode] (rev 31) 【megasr2】

■ディストリビューション

- ・ ディストリビューション : CentOS 8.0.1905 (x86_64)
- ・ カーネル版数 : 4.18.0-80.el8.x86_64

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX1310 M3 CentOS 8.0 (x86_64) 4.18.0-80.el8.x86_64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ip コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(ip, nmcli, nmtui など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID 7.2-2]のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView Agents 9.20-08] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 Fujitsu Technology Solutions 社サイトより megasr2 ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/IndexDownload.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行います。

「Browse For Product」より「Fujitsu Server PRIMERGY」→「PRIMERGY TXxxx」→「TX1310 M3」

「Selected operating system」より「Red Hat Enterprise Linux 8 x86_64」→「Driver」→

「SATA RAID」→「Intel C236 Chipset」→「RHDUP driver package megasr2 <version> for RHEL8 GA」

[ドライバ情報]

Date : 01/08/2019

Size : 0.47MB

Version : 18.02.2019.0603.4fts - 1.e18.0 - 000

Manufacturer : Fujitsu

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install CentOS 8.0.1905」を選択し、e を押します。
2. ブートオプションに「inst.dd modprobe.blacklist=ahci」を追加し、Ctrl + x を押します。
3. megasr2 ドライバのドライバディスクを読み込ませます。
4. 以降は通常のインストールを実行します。

[- トップへ戻る -](#)

PRIMERGY TX1310 M3 オンボード SATA コントローラ CentOS 7.7 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX1310 M3

- ・ BIOS : R1.23.0
- ・ CPU : Intel® Celeron® G3930 2.90GHz/2 コア/2MB ×1
- ・ メモリ : 8GB
- ・ NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ×1
- ・ HDD : SATA HDD-1TB ×1
- ・ 外部記憶 : DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Intel Corporation Ethernet Connection (2) I219-LM (rev 31) 【e1000e】
- ・ VGA : Intel Corporation HD Graphics 610 (rev 04)
- ・ RAID : Intel Corporation Q170/H170/Z170/CM236 Chipset SATA Controller
[RAID Mode] (rev 31) 【megasr2】

■ディストリビューション

- ・ ディストリビューション : CentOS 7.7 (x86_64)
- ・ カーネル版数 : 3.10.0-1062.el7.x86_64

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX1310 M3 CentOS 7.7 (x86_64) 3.10.0-1062.el7.x86_64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ip コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(ip, nmcli, nmtui など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID 7.2-2]のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView Agents 9.20-08] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 Fujitsu Technology Solutions 社サイトより megasr2 ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/IndexDownload.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行います。

「Browse For Product」より「Fujitsu Server PRIMERGY」→「PRIMERGY TXxxx」→「TX1310 M3」

「Selected operating system」より「Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64」→「Driver」→

「SATA RAID」→「Intel C236 Chipset」→「RHDUP driver package megasr2 <version> for RHEL7.7」

[ドライバ情報]

Date : 02/10/2019

Size : 0.49MB

Version : 18.02.2019.0603.4fts - 2.e17.7 - 000

Manufacturer : Fujitsu

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install CentOS 7」を選択し、e を押します。
2. ブートオプションに「inst.dd modprobe.blacklist=ahci」を追加し、Ctrl + x を押します。
3. megasr2 ドライバのドライバディスクを読み込ませます。
4. 以降は通常のインストールを実行します。

[- トップへ戻る -](#)

PRIMERGY TX1310 M3 オンボード SATA コントローラ CentOS 7.6 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX1310 M3

- ・ BIOS : R1.23.0
- ・ CPU : Intel® Celeron® G3930 2.90GHz/2コア/2MB ×1
- ・ メモリ : 8GB
- ・ NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ×1
- ・ HDD : SATA HDD-1TB ×1
- ・ 外部記憶 : DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Intel Corporation Ethernet Connection (2) I219-LM (rev 31) 【e1000e】
- ・ VGA : Intel Corporation HD Graphics 610 (rev 04)
- ・ RAID : Intel Corporation Q170/H170/Z170/CM236 Chipset SATA Controller
[RAID Mode] (rev 31) 【megasr2】

■ディストリビューション

- ・ ディストリビューション : CentOS 7.6 (x86_64)
- ・ カーネル版数 : 3.10.0-957.el7.x86_64

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX1310 M3 CentOS 7.6 (x86_64) 3.10.0-957.el7.x86_64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ip コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(ip, nmcli, nmtui など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID 7.2-2]のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView Agents 9.20-08] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 Fujitsu Technology Solutions 社サイトより megasr2 ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/IndexDownload.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行います。

「Browse For Product」より「Fujitsu Server PRIMERGY」→「PRIMERGY TXxxx」→「TX1310 M3」

「Selected operating system」より「Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64」→「Driver」→

「SATA RAID」→「Intel C236 Chipset」→「RHDUP driver package megasr2 <version> for RHEL7.6」

[ドライバ情報]

Date : 19/03/2019

Size : 0.47MB

Version : 18.02.2019.0304.4fts - 1.e17.6 - 000

Manufacturer : Fujitsu

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install CentOS 7」を選択し、e を押します。
2. ブートオプションに「inst.dd modprobe.blacklist=ahci」を追加し、Ctrl + x を押します。
3. megasr2 ドライバのドライバディスクを読み込ませます。
4. 以降は通常のインストールを実行します。

[- トップへ戻る -](#)

PRIMERGY TX1310 M3 オンボード SATA コントローラ CentOS 7.5 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX1310 M3

- ・ BIOS : R1.17.0
- ・ CPU : Intel® Celeron® G3930 2.90GHz/2コア/2MB ×1
- ・ メモリ : 8GB
- ・ NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ×1
- ・ HDD : SATA HDD-1TB ×2
- ・ 外部記憶 : DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Intel Corporation Ethernet Connection (2) I219-LM (rev 31) 【e1000e】
- ・ VGA : Intel Corporation HD Graphics 610 (rev 04)
- ・ RAID : Intel Corporation Skylake SATA RAID Controller (Greenlow) (rev 31) 【megasr2】

■ディストリビューション

- ・ ディストリビューション : CentOS 7.5 (x86_64)
- ・ カーネル版数 : 3.10.0-862.el7.x86_64

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX1310 M3 CentOS 7.5 (x86_64) 3.10.0-862.el7.x86_64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ip コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(ip, nmcli, nmtui など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID 6.6-10]のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView Agents 8.30-12] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 Fujitsu Technology Solutions 社サイトより megasr2 ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/IndexDownload.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行います。

「Browse For Product」より「Fujitsu Server PRIMERGY」→「PRIMERGY TXxxx」→「TX1310 M3」

「Selected operating system」より「Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64」→「Driver」→

「SATA RAID」→「Intel C236 Chipset」→「RHDUP driver package megasr2 <version> for RHEL7.5」

[ドライバ情報]

Date : 28/03/2018

Size : 0.47MB

Version : 18.01.2016.1108.4fts - 8.e17.5 - 0

Manufacturer : Fujitsu

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install CentOS 7」を選択し、e を押します。
2. ブートオプションに「modprobe.blacklist=ahci」「inst.dd」を追加し、Ctrl + x を押します。
3. megasr2 ドライバのドライバディスクを読み込ませます。
4. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY TX1310 M3 オンボード SATA コントローラ CentOS 7.4 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX1310 M3

- ・ BIOS : R1.9.0
- ・ CPU : Intel® Celeron® G3930 2.90GHz/2 コア/2MB ×1
- ・ メモリ : 16GB
- ・ NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ×1
- ・ HDD : SATA HDD-1TB ×1
- ・ 外部記憶 : USB DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Intel Corporation Ethernet Connection (2) I219-LM (rev 31) 【e1000e】
- ・ VGA : Intel Corporation HD Graphics 610 (rev 04)
- ・ RAID : Intel Corporation Device a106 (rev 31) 【megasr2】

■ディストリビューション

- ・ ディストリビューション : CentOS 7.4 (x86_64)
- ・ カーネル版数 : 3.10.0-693.el7.x86_64

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX1310 M3 CentOS 7.4 (x86_64) 3.10.0-693.el7.x86_64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ip コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(ip, nmcli, nmtui など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID 6.5-6]のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView Agents 8.10-20] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 Fujitsu Technology Solutions 社サイトより megasr2 ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/download/index.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行います。

「Browse For Product」より「Fujitsu Server PRIMERGY」→「PRIMERGY TXxxx」→「TX1310 M3」

「Selected operating system」より「Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64」→「Driver」→

「SATA RAID」→「Intel C236 Chipset」→「RHDUP driver package megasr2 <version> for RHEL7.4」

[ドライバ情報]

Date : 26/07/2017

Size : 0.47MB

Version : 18.01.2016.1108.4fts-5.e17.4

Manufacturer : Fujitsu Technology Solutions

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install CentOS 7」を選択し、e を押します。
2. ブートオプションに「modprobe.blacklist=ahci」「inst.dd」を追加し、Ctrl + x を押します。
3. megasr2 ドライバのドライバディスクを読み込ませます。
4. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY TX1310 M3 オンボード SATA コントローラ CentOS 7.3 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX1310 M3

- ・ BIOS : R1.9.0
- ・ CPU : Intel® Celeron® G3930 2.90GHz/2 コア/2MB ×1
- ・ メモリ : 16GB
- ・ NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ×1
- ・ HDD : SATA HDD-1TB ×1
- ・ 外部記憶 : DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Intel Corporation Ethernet Connection (2) I219-LM (rev 31) 【e1000e】
- ・ VGA : Intel Corporation Device 5902 (rev 04)
- ・ RAID : Intel Corporation Device a106 (rev 31) 【megasr2】

■ディストリビューション

- ・ ディストリビューション : CentOS 7.3 (x86_64)
- ・ カーネル版数 : 3.10.0-514.el7.x86_64

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX1310 M3 CentOS 7.3 (x86_64) 3.10.0-514.el7.x86_64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ip コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(ip, nmcli, nmtui など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID 6.5-5]のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView Agents 8.10-18] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 Fujitsu Technology Solutions 社サイトより megasr2 ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/download/index.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行います。

「Browse For Product」より「Fujitsu Server PRIMERGY」→「PRIMERGY TXxxx」→「TX1310 M3」

「Selected operating system」より「Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64」→「Driver」→

「SATA RAID」→「Intel C236 Chipset」→「RHDUP driver package megasr2 <version> for RHEL7.3」

[ドライバ情報]

Date : 22/11/2016

Size : 0.47MB

Version : 18.01.2016.1108.4fts-2.e17.3

Manufacturer : Fujitsu Technology Solutions

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install CentOS 7」を選択し、e を押します。
2. ブートオプションに「modprobe.blacklist=ahci」「inst.dd」を追加し、Ctrl + x を押します。
3. megasr2 ドライバのドライバディスクを読み込ませます。
4. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY TX1310 M3 未サポート OS (Debian) 動作検証確認情報

ソフトウェア名称	動作確認結果
	オンボード SATA コントローラ
Debian 10.2(x86_64)	<input type="radio"/> [詳細] (注 7)
Debian 9.1(x86_64)	<input type="radio"/> [詳細] (注 7)
Debian 8.9(x86_64)	<input type="radio"/> [詳細] (注 7)

本表を OS 毎に分割致しました。
そのため他の OS を別頁に記載している場合があります。

凡例
○：インストール可 ×：インストール不可 -：未確認 ※ServerView Agents は対象 OS でインストールのみ確認。
注釈
<ol style="list-style-type: none"> 1. LAN ドライバが必要。 2. TEXT モードでインストール。 3. SAS コントローラ対応ドライバ、LAN ドライバが必要。 4. SAS コントローラ対応ドライバが必要。 5. SATA コントローラ対応ドライバが必要。 6. 論理的にインストール可。 7. その他。

PRIMERGY TX1310 M3 オンボード SATA コントローラ Debian 10.2 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX1310 M3

- ・ BIOS : R1.23.0
- ・ CPU : Intel® Celeron® G3930 2.90GHz/2コア/2MB ×1
- ・ メモリ : 8GB
- ・ NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ×1
- ・ HDD : SATA HDD-1TB ×1
- ・ 外部記憶 : DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Intel Corporation Ethernet Connection (2) I219-LM (rev 31) 【e1000e】
- ・ VGA : Intel Corporation HD Graphics 610 (rev 04)
- ・ RAID : Intel Corporation Sunrise Point-H SATA controller [AHCI mode] 【ahci】

■ディストリビューション

- ・ ディストリビューション : Debian GNU/Linux 10.2 (x86_64)
- ・ カーネル版数 : 4.19.0-6-amd64

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX1310 M3 Debian GNU/Linux 10.2 (x86_64) 4.19.0-6-amd64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準 ※1
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK ※2
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ip コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(ip, nmcli, nmtui など)を利用してネットワーク構成を変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID]のインストール	—
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView Agents] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 AHCI モードで接続

※2 pam の設定変更にて可能

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Graphical install」を選択し、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

[- トップへ戻る -](#)

PRIMERGY TX1310 M3 オンボード SATA コントローラ Debian 9.1 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX1310 M3

- ・ BIOS : R1.9.0
- ・ CPU : Intel® Celeron® G3930 2.90GHz/2コア/2MB ×1
- ・ メモリ : 16GB
- ・ NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ×1
- ・ HDD : SATA HDD-1TB ×1
- ・ 外部記憶 : DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Intel Corporation Ethernet Connection (2) I219-LM (rev 31) 【e1000e】
- ・ VGA : Intel Corporation Device 5902 (rev 04)
- ・ RAID : Intel Corporation Device a106 (rev 31) 【ahci】

■ディストリビューション

- ・ ディストリビューション : Debian GNU/Linux 9.1 (x86_64)
- ・ カーネル版数 : 4.9.0-3-amd64

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX1310 M3 Debian GNU/Linux 9.1 (x86_64) 4.9.0-3-amd64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準 ※1
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK ※2
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ip コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(ip, nmcli, nmtui など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID]のインストール	—
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView Agents] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 AHCI モードで接続

※2 pam の設定変更にて可能

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Graphical install」を選択し、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

[- トップへ戻る -](#)

PRIMERGY TX1310 M3 オンボード SATA コントローラ Debian 8.9 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX1310 M3

- ・ BIOS : R1.9.0
- ・ CPU : Intel® Celeron® G3930 2.90GHz/2 コア/2MB ×1
- ・ メモリ : 16GB
- ・ NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ×1
- ・ HDD : SATA HDD-1TB ×1
- ・ 外部記憶 : DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Intel Corporation Ethernet Connection (2) I219-LM (rev 31) 【e1000e】
- ・ VGA : Intel Corporation Device 5902 (rev 04)
- ・ RAID : Intel Corporation Device a106 (rev 31) 【ahci】

■ディストリビューション

- ・ ディストリビューション : Debian GNU/Linux 8.9 (x86_64)
- ・ カーネル版数 : 3.16.0-4-amd64

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX1310 M3 Debian GNU/Linux 8.9 (x86_64) 3.16.0-4-amd64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準 ※1
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK ※2
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ip コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(ip, nmcli, nmtui など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID]のインストール	—
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView Agents] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 AHCI モードで接続

※2 pam の設定変更にて可能

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Graphical install」を選択し、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

[- トップへ戻る -](#)

PRIMERGY TX1310 M3 未サポート OS (FreeBSD) 動作検証確認情報

ソフトウェア名称	動作確認結果
	オンボード SATA コントローラ
FreeBSD 11.1 (x86_64)	○ [詳細] (注 7)

本表を OS 毎に分割致しました。
そのため他の OS を別頁に記載している場合があります。

凡例
○：インストール可 ×：インストール不可 -：未確認 ※ServerView Agents は対象 OS でインストールのみ確認。
注釈
<ol style="list-style-type: none"> 1. LAN ドライバが必要。 2. TEXT モードでインストール。 3. SAS コントローラ対応ドライバ、LAN ドライバが必要。 4. SAS コントローラ対応ドライバが必要。 5. SATA コントローラ対応ドライバが必要。 6. 論理的にインストール可。 7. その他。

PRIMERGY TX1310 M3 オンボード SATA コントローラ FreeBSD 11.1 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX1310 M3

- ・ BIOS : R1.9.0
- ・ CPU : Intel® Celeron® G3930 2.90GHz/2 コア/2MB ×1
- ・ メモリ : 16GB
- ・ NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ×1
- ・ HDD : SATA HDD-1TB ×1
- ・ 外部記憶 : DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Intel Corporation Ethernet Connection (2) I219-LM 【em】
- ・ VGA : Intel Corporation HD Graphics 610
- ・ RAID : Intel Corporation Sunrise Point-H SATA controller [AHCI mode] 【ahci】

■ディストリビューション

- ・ ディストリビューション : FreeBSD 11.1 (x86_64)
- ・ カーネル版数 : 11.1-RELEASE

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX1310 M3 FreeBSD 11.1 (x86_64) 11.1-RELEASE

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準 ※1
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	—
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	—
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ipconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(bsdconfig など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID]のインストール	—
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView Agents] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 AHCI モードで接続

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install」を選択し、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

[- トップへ戻る -](#)

PRIMERGY TX1310 M3 未サポート OS (Ubuntu Server) 動作検証確認情報

ソフトウェア名称	動作確認結果
	オンボード SATA コントローラ
Ubuntu Server 16.04 LTS	○
Ubuntu Server 14.04 LTS	○

本表を OS 毎に分割致しました。
そのため他の OS を別頁に記載している場合があります。

注：Ubuntu 14.04 以降は Ubuntu の認証を取得し、Ubuntu Server certified hardware サイトにて詳細を公開しております。 <https://certification.ubuntu.com/server/> (外部サイトリンク、英語) を参照ください。

凡例
○：インストール可 ×：インストール不可 -：未確認 ※ServerView Agents は対象 OS でインストールのみ確認。
注釈
<ol style="list-style-type: none"> 1. LAN ドライバが必要。 2. TEXT モードでインストール。 3. SAS コントローラ対応ドライバ、LAN ドライバが必要。 4. SAS コントローラ対応ドライバが必要。 5. SATA コントローラ対応ドライバが必要。 6. 論理的にインストール可。 7. その他。

PRIMERGY TX1310 M3 未サポート OS (openSUSE) 動作検証確認情報

ソフトウェア名称	動作確認結果
	openSUSE Leap 42.2 (x86_64)

本表を OS 毎に分割致しました。
そのため他の OS を別頁に記載している場合があります。

凡例
○：インストール可 ×：インストール不可 -：未確認 ※ServerView Agents は対象 OS でインストールのみ確認。
注釈
<ol style="list-style-type: none"> 1. LAN ドライバが必要。 2. TEXT モードでインストール。 3. SAS コントローラ対応ドライバ、LAN ドライバが必要。 4. SAS コントローラ対応ドライバが必要。 5. SATA コントローラ対応ドライバが必要。 6. 論理的にインストール可。 7. その他。

PRIMERGY TX1310 M3 オンボード SATA コントローラ openSUSE Leap 42.2 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX1310 M3

- ・ BIOS : R1.9.0
- ・ CPU : Intel® Celeron® G3930 2.90GHz/2 コア/2MB ×1
- ・ メモリ : 16GB
- ・ NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ×1
- ・ HDD : SATA HDD-1TB ×1
- ・ 外部記憶 : DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Intel Corporation Ethernet Connection (2) I219-LM (rev 31) 【e1000e】
- ・ VGA : Intel Corporation Device 5902 (rev 04)
- ・ RAID : Intel Corporation Device a106 (rev 31) 【ahci】

■ディストリビューション

- ・ ディストリビューション : openSUSE Leap 42.2 (x86_64)
- ・ カーネル版数 : 4.4.27-2-default

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX1310 M3 opensUSE Leap 42.2 (x86_64) 4.4.27-2-default

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応 (OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応 (OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認 (書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示 (ip コマンド) されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ (ip, nmcli, nmtui など) を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス (httpd) が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送 (nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール [ServerView RAID] のインストール	—
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア [ServerView Agents] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成 (rebuild) が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Installation」を選択し、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

[- トップへ戻る -](#)